

科 目 名	飯能学	授 業 形 態	講義科目
担 当 者	平井 純子	単 位 数	2単位

飯能学ノススメ

1. 授業内容

駿河台大学は飯能市にあります。飯能市を中心とした「地元」を知り、そこから学んでいくのが飯能学です。その基礎として、まずは飯能地域の歴史や風土、成り立ちを調べます。これを踏まえ、フィールドワークや飯能出身の方からの話などを通じ、地元にあるものを確認し、それらの意味を学びます。この地域が持っている力、地域の人が持っている力を理解し、有効に活用する、ないものねだりをするのではなく、「あるもの探し」をする思考を身につけ、飯能にある大学の学生としての相当の知識を身につけていきたいと思います。

2. アクティブ・ラーニングの要素

調査学習・フィールドワーク／リアクションペーパー

3. 到達目標

飯能を理解することを目指していきます。実際に見て感じてもらう作業を通じ、論理的・多面的思考力、情報処理力、構想力を高めていき、飯能という地での課題を考えていくことで、課題発見力、問題解決力を高めていきます。

4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

④論理的・多面的思考力／⑤情報処理力／⑥構想力／⑬課題発見力／⑮問題解決力

5. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目は、ディプロマ・ポリシー(全学部)の「(2)考える力」と関連しており、さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考えることができます。

6. 関連科目

森林文化Ⅰ、Ⅱ、まちづくり実践など

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

授業内容を確認し、理解の不足している用語等を確認すること(各2.0 時間)。課題についての解決策を資料調査により見つけ出す努力をすること(各2.0 時間)。

8. 成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
授業への参加度	30%	リアクションペーパーを通じ、積極的に理解をしているか、評価する。
レポート	30%	与えられた課題について、現場を確認しつつ、具体的に述べているか、評価する。
期末試験	40%	地域を考えつつ、論理的・多面的思考力、情報処理力、構想力の向上がみられたか、評価する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを配付・回収して、授業内で回答します。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
飯能市エコツアーリズム推進協議会委員を2012年から担い、2014～20年はその会長を担った。	飯能市エコツアーリズム推進協議会委員としてその活動に携わった教員が現状や現地調査等について解説を行う。

授業計画	
第1回	飯能学ノススメ
第2回	飯能の地誌
第3回	古代の飯能
第4回	中世の飯能
第5回	近世の飯能
第6回	近代の飯能
第7回	飯能の地域資源とは
第8回	飯能市における観光戦略
第9回	飯能市と北欧化
第10回	飯能の現地調査 ①文化について
第11回	飯能の現地調査 ②自然について
第12回	飯能の現地調査 ③食について
第13回	特別講師による講義
第14回	飯能市のこれから
第15回	まとめ

11. テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
飯能市史：通史編ほか	飯能市史編集委員会編	飯能市	-	参考文献として図書館にて閲覧可能。分野別に複数冊あり。